

各位

株式会社JMC

(証券コード：5704)

2022年12月期 第1四半期決算

売上高は前年同四半期比22.1%増の657百万円、営業利益は95百万円

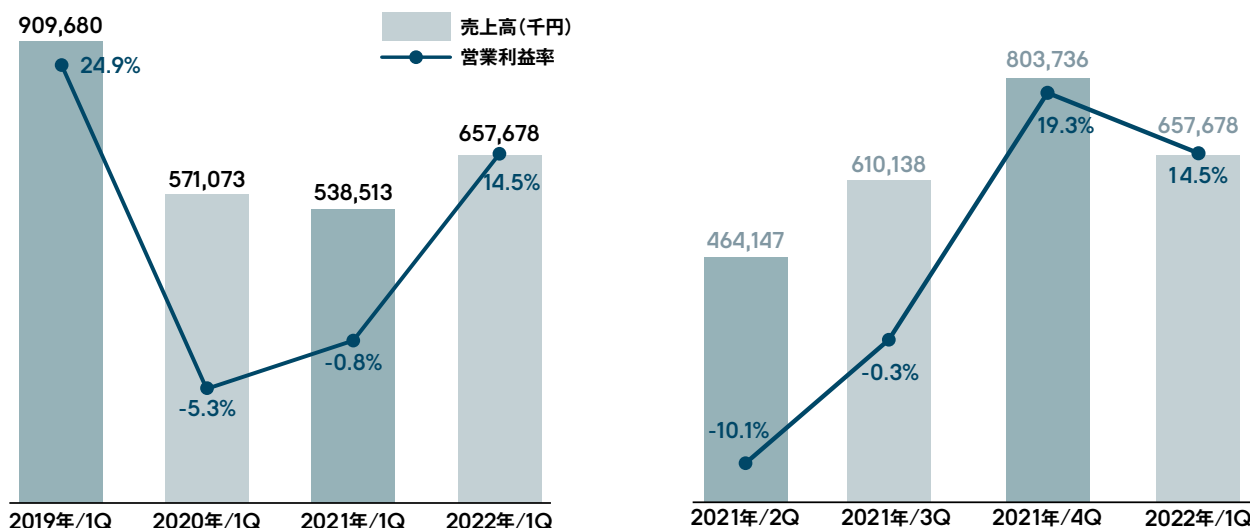
～ 第1四半期決算で2年ぶりの増収増益 ～

2022年12月期第1四半期の業績は、売上高657百万円(前年同四半期比22.1%増)、営業利益95百万円(前年同四半期は営業損失4百万円)、四半期純利益82百万円(前年同四半期比201.6%増)、1株当たり四半期純利益15.59円(前年同四半期は5.17円)となりました。

当社の主力事業である鑄造事業においてFA(ファクトリーオートメーション)関連の需要増加に加え、自動車産業分野顧客のEV(電気自動車)開発ニーズの高まりから需要回復傾向が継続し、業績を牽引しました。また、CT事業では、品質不具合に対する解析への短納期対応により好業績を収めました。

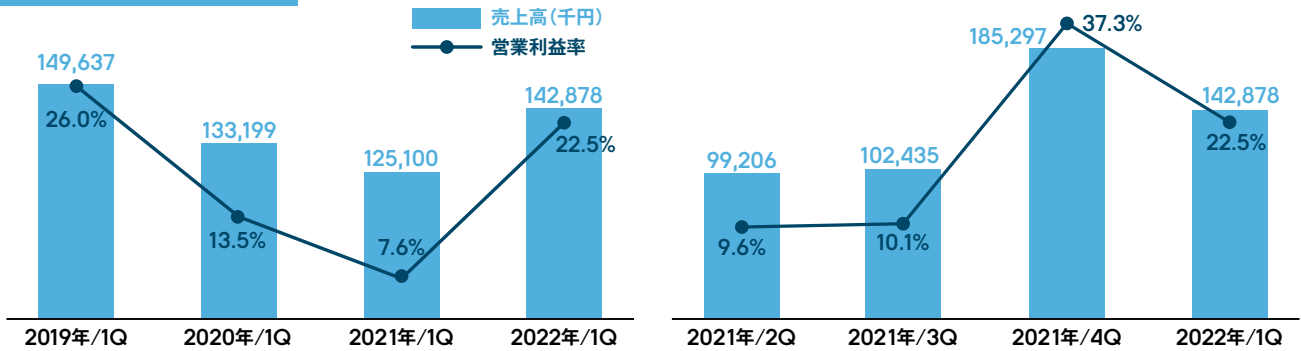
また、当社は伊豆木産業用地(長野県飯田市)に「第8期棟」の建設を決定しました。これに加えて熱処理設備およびマシニングセンタの増設により、FA協働ロボット量産用鑄造部品を効率的に生産し続ける体制の確立を進めてまいります。

業績ハイライト



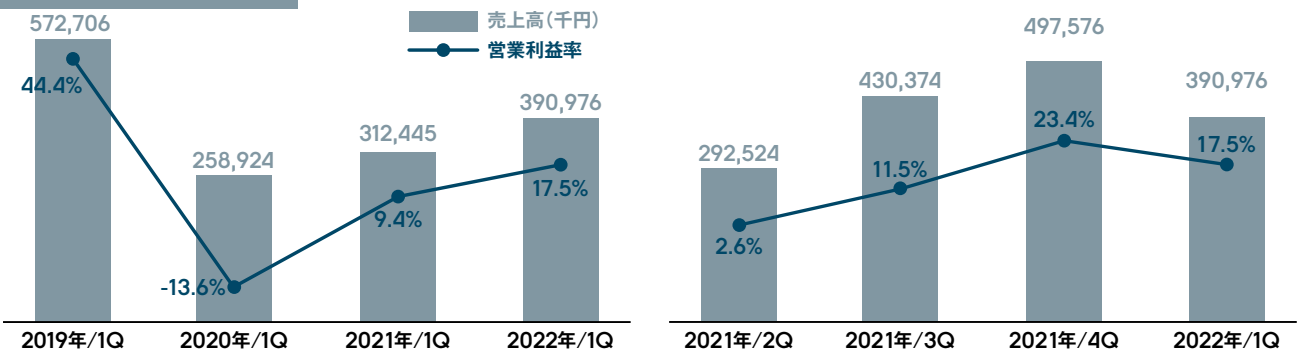
セグメント別業績

3Dプリンター出力事業



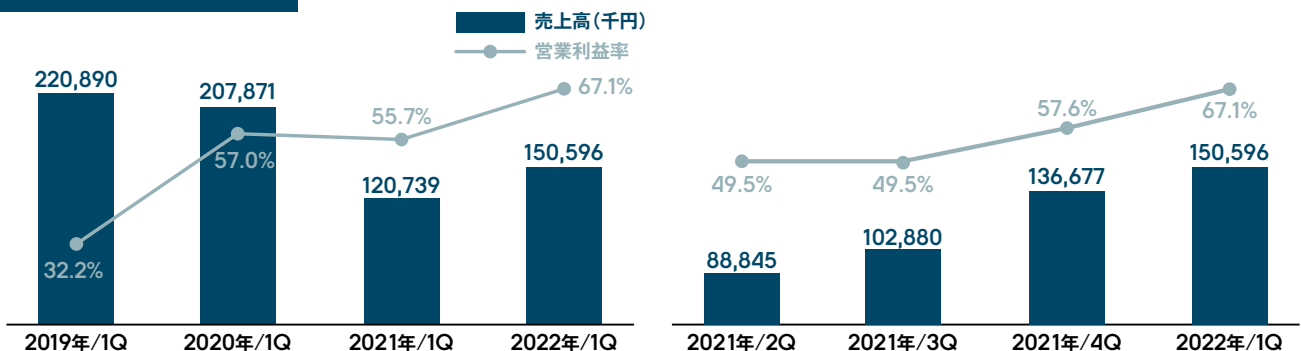
- 試作プロジェクトの再開や屋外催事の増加により需給バランスは改善
- HEARTROID(ハートロイド) および医療モデル製作分野での業績牽引が継続

鋳造事業



- FA分野の量産用鋳造部品の需要増加が継続
- トヨタ生産方式を導入した工程改善が売上高・セグメント利益向上に寄与
- 需要増加への対応と、より効率的な生産体制確立のため「第8期棟」建設を決定

CT事業



- 当第1四半期で装置販売実績なし
- 短納期が要求される品質不具合検査案件に集中的に対応
- NHK番組「ギョギョッとサカナ★スター」への出演など、産業用CTの需要喚起策を推進

今後の見通し

2022年12月期第1四半期の業績は、概ね当社の想定通りの推移ではありましたが、新型コロナウイルス感染症の収束不透明感に加え、ロシアとウクライナの戦況悪化による資源価格高騰や部品・原材料の供給不足など、通期見通しの達成には予断を許さない状況が継続しております。

当社では、鑄造事業セグメントで取り入れたTPS(トヨタ生産方式)の高効率な生産への概念を全ての事業へ展開するとともに、「MADE BY JMC」を体現するサービス力、技術力の獲得を進め、ものづくりのトータルサポート企業を目指し、事業の拡張を進めてまいります。

なお、決算関連資料などにつきましては、当社ホームページよりご覧ください。
(<https://www.jmc-rp.co.jp/>)

問い合わせ先

株式会社JMC

経営企画室

TEL: 045-477-5751 E-MAIL: ir@jmc-rp.co.jp

(注意事項)

本資料は、当社の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、いかなる情報も、当社が発行する株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイスの目的で作成されたものではありません。

本資料に掲載されている情報には、当社に関する将来予測や業績予測が記載されていますが、これらは潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。業績結果が経営環境の変化などによって、見通しと異なったものになる可能性があることをご承知おきください。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。